

平成22年2月25日
東日本高速道路株式会社

三郷南IC出口渋滞対策への取り組みについて

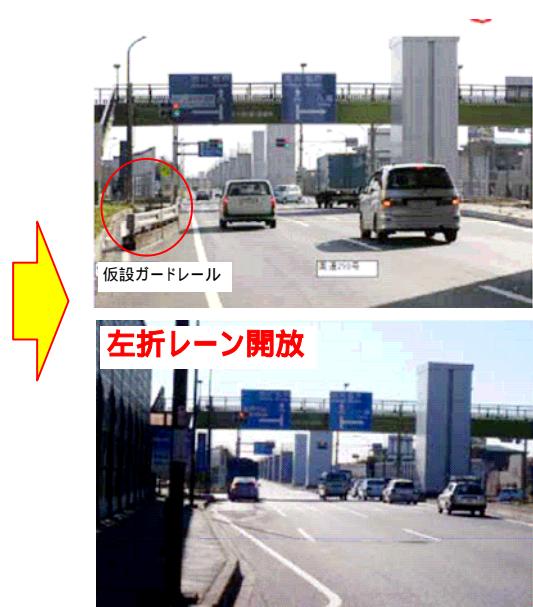
NEXCO東日本(東京都千代田区、代表取締役会長:八木重二郎)では、東京外環自動車道 三郷南インターチェンジでの出口渋滞対策について、各関係機関と連携し取り組んでおりますので、その概要について報告いたします。

NEXCO東日本では、引き続き渋滞対策及び外環の延伸について鋭意取り組んでまいります。

(位置図)



横断歩道と押しボタン式信号機設置、通学路の変更



（経緯）

H17.11.27東京外環自動車道(三郷JCT～三郷南IC)開通以降、三郷南IC出口先の国道298号交差点を起点とする渋滞が発生。(H20は年22回、H21は年40回発生　1km以上の渋滞)

平成19年3月に国土交通省、埼玉県警、埼玉県、三郷市、NEXCOなどで渋滞対策会議を立上げ、出口交差点の信号操作や外環本線上での情報提供などの対策を講じるも、松戸三郷有料道路の無料化(H20.10)による交通増もあり、渋滞解消までに至らず。

国土交通省、埼玉県警、三郷市を中心とした関係機関の努力により、今年1月8日に出口交差点の左折レーンを開放。1ヶ月程度経過した現在、目立った出口渋滞は発生していない。

これから交通量、渋滞回数共に増加する時期であります。引き続き三郷南IC出口渋滞に注視してまいります。

（参考）

交差点改良後の三郷南IC出口渋滞状況(昨年同時期比較)

	H22.1.8(金)～31(日)	H21.1.8(木)～31(土)
渋滞回数	0回	7回
最大渋滞長	0km	0.8km
最大渋滞時間	0分	140分
1月平均日交通量 (トラカン交通量)	8,800台/日	8,000台/日

1km未満の渋滞も含む

参考資料

東水戸道路 水戸大洗インターチェンジ交差点部の交通渋滞対策について

東水戸道路 水戸大洗インターチェンジ周辺の道路において、夏の海水浴シーズンなどに発生している交通渋滞について、「水戸大洗IC周辺交通問題対策連絡調整会議」を立ち上げて、平成21年の海水浴シーズン前に対策を講じました。

その結果、昨シーズンよりも国道51号水戸大洗IC交差点での交通量が1.7倍増えたにもかかわらず、最大渋滞長が2.4km減少しました。



【水戸大洗IC周辺交通問題対策連絡調整会議】

- ・国土交通省、茨城県、水戸市、茨城町、大洗町、茨城県警、NEXCO東日本など

（主な対策の概要）

- ・国道51号の右折レーンの2車線化



- 水戸大洗IC出入り口部の2車化



- ・一般車レーンの適正運用。(ETC車レーンをETC車、一般車の共用型とし、一般車の利用が可能)
- ・信号機への右折矢印の追加設置。
- ・周辺交差点も含めた信号現示の改善。(右折時間の延長等)

以上